

第6回 理事会

日 時：令和2年9月3日(木)14:00~17:50

場 所：本学会会議室(Web会議併用)

出席者：長田会長(議長)、伊藤副会長、清水副会長、
末永常務理事、秋山、池見、稲垣、太田、大谷、
奥村、小俣、北田、佐々木、竹村、富岡、西山、
長谷川(淳)、長谷川(信)、林、船山、升元、三好、
和田各理事
野村、齋藤各監事
欠席者：大沼、徳永各理事
(理事25名中23名出席(過半数)により理事会は成立)

陪席者：熊谷(事務局)

議事内容：

1. 前回議事録の確認

- ・令和2年7月30日開催の第5回理事会の議事録案について承認した。

2. 審議事項

1) 会員状況及び新入会員の承認

- ・事務局長から9月1日時点の会員状況について説明があり、3名の正会員、1社の賛助会員の入会を承認した。
- ・9月1日時点では、正会員1,832名、学生会員36名、名誉会員60名となり、総数は1,928名であることを確認した。

2) 本部収支の見直しについて

- ・事務局長から標記の説明がなされた。
- ・本部予算について、コロナ禍を受けた中間の状況を確認した。今後委員会、研究部会等において予算の修正がないか確認していくこととした。

3) 運営規定の制定について

- ・常務理事から将来構想検討特別委員会運営規程およびダイバーシティ推進特別委員会運営規程の制定についての説明がなされた。
- ・コメントのあった内容について修正対応することにより、両運営規程の制定が承認された。
- ・運営規程にWeb会議を盛り込むことについては、他の委員会等の運営規程にも影響を及ぼすことから、規則の改定について総務委員会で検討することとした。

4) 令和2年度研究発表会について

- ・担当理事から標記の説明がなされた。
- ・開催までの流れ、Web開催の運営・対応内容について承認した。
- ・口頭発表で質問者が同時に複数出た場合の取扱い、著作権やCPD付与の問題があることから発表を録画することはしないこと、副座長にどの程度Zoomの有料ライセンス所有があるか不明なためポスター

発表では無料のZoomライセンスを利用することが確認された。また、7年に一度の中部支部開催にあたることから、現在協賛・後援頂く予定の団体はそのまま協賛・後援頂き、費用負担は求めないこととした。

5) 令和3年度研究発表会について

- ・末永常務理事から標記の説明がなされた。
- ・令和2年10月までに会場費を前納することについて承認された。

3. 確認事項

1) 収支状況

- ・事務局長から令和2年度7月期の本部収支が説明された。
- ・現在のところ、特に問題は見当たらない。

2) 令和2年度事業計画の変更について

- ・常務理事から標記の説明がなされた。
- ・事業計画の変更について報告の有無と内容を確認し、次回理事会に諮ることとした。

3) 将来構想検討特別委員会の開始について

- ・常務理事より標記の報告があり、特別委員会の開始が確認された。

4) ダイバーシティ推進特別委員会の開始について

- ・常務理事より標記の報告があり、特別委員会の開始が確認された。

4. 本部からの報告事項

1) 他学協会からの依頼

- ・常務理事から、ジオパーク・コンソーシアムの設置について説明がなされた。現在ジオパーク委員会(JGC)の委員となっている社会貢献と魅力発信に関する特別委員会の長谷川委員長に内容を確認することとなった。
- ・常務理事から埼玉大学からの後援依頼について説明がなされた。「彩の国」市民科学オープンフォーラムへ後援することが確認された。

2) 日本地球惑星科学連合環境・災害対応委員会での報告

- ・担当理事から標記の報告があった。現状で、環境部門の委員として竹村理事が出席しているが、災害部門の委員が事実上欠員となっていることから、災害地質研究部会から補充を検討することとなった。

3) 令和2年7月九州豪雨災害調査団の設置について

- ・常務理事より標記の報告があった。

5. 各委員会・支部・研究部会・小委員会からの報告事項

1) 総務委員会

- ・8月28日開催の委員会議事録案が説明された。
- ・日本応用地質学会表彰に関して、受賞者の高嶋様へ

の表彰楯の授与は9月28日になることの報告があった。

2) 広報・情報委員会

- ・担当理事より、オンラインストレージに関しては導入について説明がなされ、費用が生じるため、次回理事会で審議することとなった。

3) 国際委員会

- ・7月31日開催の委員会議事録について説明があった。
- ・災害調査団の調査結果を英語版ホームページに掲載したいことから、災害地質研究部会と調整することとなった。

4) 研究企画委員会

- ・7月29日開催の委員会議事録が提出された。
- ・AIをテーマとしたワークショップでは、Web会議システムを利用することも検討しているため、研究発表会での情報を共有することとなった。また升元理事より、来年度ジオメリットをテーマとして、「一家に一枚ポスター企画」に応募するための準備を行っていることが報告された。

5) 北海道支部

- ・支部活動報告が提出された。
- ・12月4日実施予定の研究発表会では、Web会議システムを利用することも検討しているため、研究発表会での情報を共有することとなった。

6) 災害地質研究部会

- ・担当理事より、胆振東部地震による地すべり災害に関する報告書、2019年台風19号等災害調査団報告書の進捗状況が報告された。また、令和2年7月豪雨災害調査団を設置し、ホームページが開設されたこと、今後の調査スケジュール等が報告された。

- ・胆振東部地震災害の報告書については、会誌10月号にて宣伝することとなった。また、2019年台風19号等災害調査団報告書については12月に埼玉大学にて報告会を開催すべく検討することが報告された。

6. その他

- ・胆振東部地震災害の報告書の販売促進のため、研究発表会(Web開催)でセッション終了後に副座長より宣伝頂くことを検討することとなった。

- ・研究教育部門長の清水副会長より、来年度のシンポジウムは、環境地質研究部会のテーマによる開催の順番となっていることから、テーマの有無や来年度開催するかどうかについて検討頂くこととなった。現状では、来年度のシンポジウムは、延期となっている応用地形学研究部会のテーマで開催されることとなっており、複数部会のテーマによる開催となれば初めての試みとなるため、検討状況について逐次情報を共有することとなった。

- ・Zoomのウェビナー機能はライセンス料金が高価なため、使用を希望する際には三好理事に相談頂きたいとのことであった。